

2019 年度（令和元年度）

事業計画書

学校法人 正和学園

認定こども園 正和幼稚園

1、基本理念

「こどものたから みつけ」

私たちは、志を高く持ち、地域の幼児教育の拠点となるよう努めます。
いきいきと躍動感にあふれた保育活動を展開し園にかかわる全ての人が共に成長し、幸せになるよう努めます。

2、保育方針

私たちは、今ここで、「おうえんしあうころ」

「そだちあうともだち」

「そだちあうきずな」を大切にします。

3、保育目標

上記の保育方針を達成するため、次の保育目標を掲げ日々の保育を行います。

- 1) 子どもが「いきいき」と遊び生活すること
 - ① 個人・生命の尊厳、意欲や自立性の育ちを守る
 - ② こころとからだのバランスがとれた育ちができる
- 2) 人・ものとの「つながり」を喜びとすること
 - ① 人や社会と関わる大切さを知る
 - ② 自然や文化とのふれあいをもつ
- 3) 子ども時代の「夢や願い」を育てること
一人ひとりを大切に！

まったなしで成長している子どもの為にできることは全力をあげて頑張ります

～運営方針～

- ① 友達とのつながりを深めながら子どもの「いのち」を守ることは幼稚園の最重要課題。子どもの安全安心に努めていきます。
- ② 地域環境を生かし自主的に興味のある人・ものに「いきいき」と喜び、楽しみながら「かかわり」取り組むことを目指します。
- ③ 子どもと子ども、相互の人間関係の築きを大事にし助け合い励まし合う心情を高めていきます。
- ④ 健康な心とからだを大切に「食育」を充実させ、季節・行事・日々の活動と連携して関わりをもたせていきます。
- ⑤ 預かり保育（おひさまくらぶ）・地域活動（ころころひろば）をすすめます。
- ⑥ 正和学園内の連携を深め、協力体制をすすめ、よりよき保育内容充実に努めます。
- ⑦ 園長・職員等の大幅な人事交流・配置を受けて、運営体制が信頼に足るものとなるように法人本部をもとに調整して事業が円滑に進めるよう努めます。
- ⑧ 小学校との連携・・・子どもの生活や発達の連続性を踏まえた保育の内容の工夫、小学生や職員間の交流など積極的な連携に取り組むことを奨励すると共に、就学に際し、子どもの育ちを支えるために小学校との連絡会に参加することを義務付けています。
- ⑨ 新制度こども園に対応し、2号児・3号児を安心して保育する環境を整備します。

4、施設事業運営

(1) クラス編成及び入所児童数 (4月1日) 157名

2歳児 18名 (利用定員: 18名)
 3歳児 2クラス 54名 (利用定員: 1号児 40名 2号児 30名)
 4歳児 2クラス 45名 (利用定員: 1号児 40名 2号児 30名)
 5歳児 2クラス 40名 (利用定員: 1号児 40名 2号児 30名)

《内訳》

	1号児	2号児	3号児
1歳児			
2歳児			30 (管外0)
3歳児	23 (管外0)	標18 (管外0) 短13 (管外0)	
4歳児	16 (管外0)	標14 (管外0) 短15 (管外1)	
5歳児	21 (管外0)	標8 (管外0) 短11 (管外0)	

(2) 開所時間

7:30~18:30

1号児

【教育時間】

7:30	10:00	14:00	18:30
延長保育	教育時間	延長保育	

2・3号児

【保育標準時間】

7:30	18:30
最大11時間 (利用可能な時間帯)	

【保育短時間】

7:30	8:30	16:30	18:30
延長保育	最大8時間 (利用可能な時間帯)	延長保育	

(3) 保育料

保育料町田市に一任。延長保育料は以下のとおり。

30分: 100円

おやつ代: (15:00 1号児) (18:00): 100円

5、児童の処遇

(1) 教育・保育内容

教育・保育計画に基づき、養護と教育が一体となった総合的な活動を展開する。

養護	<ul style="list-style-type: none"> * 子どもの安全・健康管理には十分配慮し、落ち着いた環境の中で生活できるように環境・設備を整える。 * 一人ひとりの家庭環境・発達状況に応じ、基本的な態度が身につくようにする
人間関係	* 人とのかかわりの中で、人を思いやり、人に感謝する気持ちを育てる
言葉	* 喜んで話したり、聞いたりする態度や豊かな言葉を育てる
遊び (自然) (表現)	<ul style="list-style-type: none"> * 運動——身体を使った遊び。 * 構造——玩具を組み合わせるなど構成する遊び。 * 創造——イメージを膨らませて表現する遊び。 * 想像——模倣・世話・役割遊び。 * 言語——言葉に関する遊び。 * 音楽——音に関する遊び。 * 感覚——互換・操作・探索遊び。農園・栽培活動。

※園だより・クラスだより・保健だより・献立表を毎月配布（園だより、クラスだよりは7.8月合併号）

※その他日々の連絡について、2歳児は各自の連絡を密にする。また、2～5歳児クラスにおいてはその日の活動内容・様子等を掲示し、保護者に伝える。

※アクティブラーニングなどの手法を導入し、子どもたちの主体性を保障する保育の意識化を図る。

※ドキュメンテーションやポートフォリオなどの「保育の見える化」を推進する。

(2) 主な行事

* 日本古来から伝わる風習を伝え、社会への関心を持たせるためにいろいろな行事を行い、地域にも開放。行事予定については別紙参照。

* 年間を通して農園栽培活動を実施。未就園児親子遊び会・子育て支援・育児講座等の充実を図り地域交流・異年齢交流を実施。

* 地域交流として、今年度も市立中学校・高等学校・専門学校・短期大学・大学の学生の職場体験を受け入れる。

(3) 健康管理

保健年間計画に基づき実施する。

【年間目標】

* アトピー・アレルギー体質の園児に対しては、主治医の指示のもと、園と保護者が話し合い対応する。

* 与薬についても主治医の指示のもと、園と保護者が話し合い対応していく。

* 園内や地域で感染症が発生した際は、その状況・病状について掲示し、情報提供する。

* 感染症対策

【健康診断・健康管理】

項目	実施回数	実施者
定期健康診断	年2回	嘱託医
歯科検診	年1回	町田歯科医師会
歯科衛生士による歯磨き指導	年1回	町田市健康福祉課
健康・衛生管理・指導	随時	看護師

(4) 栄養管理・食育目標

- ・「食べる」ことの楽しさ、喜び、マナーを伝える。
- ・旬の食材を知り、活動の中で発見できるよう配慮し、活動の幅を広げていく。
- ・できるだけ自然食品や安全食品を取り入れる。(産地が分かるよう配慮する)
- ・季節の食材を使用し、いろいろな食品に慣れるよう調理方法を工夫する。
- ・咀嚼の発達を促すため、噛みごたえのある食材を積極的に取り入れる。
- ・行事食にも力を入れ、日本伝統食文化を伝えていく。
- ・アレルギー児や宗教に配慮し、個別対応食を用意する。
- ・毎日の献立の掲示、献立表・おたよりの配布を通し子どもの食育活動の様子や適正量・調理方法などを保護者に伝える。
- ・自分から食べたいという意欲を育て、適正量を考えられるよう配膳方法など工夫する。
- ・安定感とぬくもりのある陶器の食器を使用する。
- ・温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たくし、おいしく食べられるように工夫する。
- ・給食献立と保育の融合を図り、子どもたちへの保育活動を広げる。
- ・種・苗植から携わり、成長過程や特性を知り収穫調理を通して、食への関心を高める。
- ・毎月、季節の果物を使用したジャムを誕生児を中心に作り、誕生会の給食でいただく。

6、災害対策・安全管理

(1) 災害対策

- * 毎月、火災・地震・自然災害を想定し、避難訓練を行う。9月には保護者協力のもと引き取り訓練を行う。
- * 専門業者による防災設備点検、管轄の消防署に報告書を提出。
- * 防災用品の一覧表を作成し、監理・補充を行う。
- * 「子どもの見守りカード」を使い、引き渡しなどの確実性を向上する。

(2) 安全管理

- * 監視カメラで園周囲を監視し、防犯カメラで録画。玄関・各門の出入りは事務室からモニターで監視。
- * 遊具・園舎の安全管理・事故防止マニュアル・チェック表作成、記録。
- * 学校 110 番設置。
- * 警察署交通安全指導。

7、職員の処遇

職員の処遇については、仕事と家庭生活が両立でき、個々が生きがいを持って働くことができる職場作りに努める。長く働けるように、休暇や産休・育休、短時間勤務、家族の看病のための休暇も取りやすい職場づくりをする。

せいわらウンジ（職員休憩所）をより快適に活用するための検討見直しを図る。

「処遇改善1・2及びキャリアアップ補助金」を活用し、職員の給与の処遇改善のみならず、より明確な組織とキャリアパスを目指す。また、外部研修や関係園などとの合同研修や相互見学などを通し、保育者自身のモチベーションアップにつなげていく。

(1) 採用・産休等

【新規採用者 2019.4.1付】

4名

【育休】

1名（つながり送迎保育園・もりのより異動、6月復帰予定）

【産休予定】

なし

(2) 職員の会議

会議名	開催日	参加者
職員会議	月1回	全正規職員
週日案会議(学年ごと)	週1回	各学年・クラス1名
給食会議	月1回	園長・副園長・担当職員・給食職員
ケース会議	随時	園長・副園長・担当職員
行事打ち合わせ	随時	園長・副園長・担当職員
朝礼	毎日(土曜日除)	園長・副園長・担当職員
終礼	毎日(土曜日除)	園長・副園長・担当職員

(3) 職員研修計画

園全体研修を実施予定。2018年度はファシリテータを迎えてのチームビルディング研修と、幹部職員育成のためのリーダーシップ研修を重点的に実施予定。

また、キャリアパスに応じたスキルアップの明示などと連動した、処遇改善の仕組みや個々の職員へのコーチングを体系的に実施することで、各職位に応じた資質向上の取り組みにインセンティブを与える。研修の計画は、職員の希望も考慮しつつ委員会などの分野をもとに園長・副園長が策定する。

8、苦情解決システム

地域・保護者からの意見・要望・苦情を受け付け、保育サービスの向上に努める。

9、子ども家庭支援事業

- * 一般型一時保育及び定期利用の実施
- * 特に今年度は、地域活動(ころころひろば)の利用率をあげることに力を入れる。

10、施設・設備整備関係(課題を順次解消)

- * 園庭環境——9月園庭完成予定。
- * ICT環境の整備。(サイボウズ・ブレイン等)